

体験活動参加型＋子育てサロン型（小学校）

学校名等	大野町立西小学校
実施日時	12月14日（金）14：00～16：00
会場	大野町第4公民館
参加人数	1年生児童と保護者 計30組
学習課題（分野）	親子でランチョンマットを作ろう（食育）
運営者の願い	両親ともに働く家庭が多くなり、親子でいっしょに何かを作るという機会が少なくなっている。そこで、ランチョンマットを作成して軽食をとりながら楽しいひとときを過ごすとともに、作成したマットを家庭でも利用することを通して親子での会話を増やしたいと願い、企画した。

学 習 の 内 容

<活動の流れ>

- ① 5月…西濃地区家庭教育学級リーダー研修会での活動の情報交流で、ランチョンマットの作成を指導していただける講師を紹介していただいた。
- ② 6月…家庭教育学級長が講師と連絡を取り、制作の準備や当日の指導を承諾していただくとともに開催日を決定して、場所を確保した。
- ③ 10月…学級長と副学級長を中心に、相談しながら会場の準備及び各家庭への案内状を送付した。合わせて、学級担任に児童から保護者にあてての感謝の手紙を準備してもらうように依頼した。

<当日の活動>

- ① 午前中に講師と、学級長・副学級長が会場設営を行う。
 - ・机を5人ずつ6つのグループに分け、親子で着席できるように席割り。
 - ・厚手の白い布と様々な図柄のスタンプ、速乾性スタンプ台（4色）を親子で1セットずつ準備。
- ② 講習会（おおよそ1時間程度）
 - ・学級長から講師の紹介。
 - ・講師が制作の仕方を説明。
 - 「クリスマス」等、各自のイメージをもとにして、布の上でスタンプを組み合わせながら、オリジナルのランチョンマットを作成していく。
 - ・児童の思いを活かし保護者が援助しながら、楽しくランチョンマットを作成。
- ③ お茶会（おおよそ1時間程度）
 - ・講習会終了後の休憩時間に、お茶と軽食を準備。
 - ・6つのグループ毎に、軽食を取りながら会話を楽しむ。
 - ・サプライズとして、児童から保護者に感謝の手紙を渡す。



<活動のポイント>

- 楽しい雰囲気を作るために、
- ・ランチョンマットを作成する場面では、アイデアの良さを認めるようにする。
 - ・会話をするときには、相手の話をしっかり聞く。
 - ・ランチョンマットを家庭でも利用してもらうよう呼びかける。

<活動後のようす>

- ① 児童の感想…おかあさんといっしょにマットがつくれて、たのしかった。
- ② 保護者感想…久しぶりに子どもとゆっくり触れあうことができて、よかった。
- ③ 利用の状況…ランチョンマットは自宅で利用するとともに、給食のナフキンとしても利用する児童が多く、時折、活動のようすを思い出しながら話していることもある。



<親子でコミュニケーションがとりやすい取組>

- 作業が簡単で、児童が自分の思いを活かして取り組みやすい。
- 児童の思いが実現できるよう、保護者がアドバイスしやすい。



<あたたかい雰囲気を感じて活動できる取組>

- 時間に余裕があり、じっくり相手の話を聞きながら活動できる。
- 互いに認め合うことを原則とすることで、楽しく活動できる。



<活動後も思いの継続が期待できる取組>

- 作品を残すだけでなく、生活の中で利用することができる。
- 作品を使うことを通して、楽しく活動できた思いを何度も味わうことができる。